

令和7年度 静岡県資源環境技術研究会 総会

【日 時】 令和7年7月16日（水） 12:45～13:30

【会 場】 静岡県農林技術研究所 茶業研究センター 会議室
菊川市倉沢1706-11
TEL 0548-27-2311

【議事次第】

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事審議
 - 1) 令和6年度事業報告、決算報告
 - 2) 令和7年度役員について
 - 3) 令和7年度事業計画、予算
 - 4) その他
5. 閉会の辞

1) 令和6年度事業報告、決算報告

＜令和6年度事業報告＞

	月/日	事業(参加者数)／共催	内 容
①	5/20 (火)	役員会 (22) 〔パルシェ 7F D 会議室〕 交流会 (25) 〔鶏菜 静岡駅前店〕	総会および研究会事業の検討
②	6/26 (水)	総会及び見学会 (47 委任状含む)	＜令和6年度総会＞ 御前崎市観光物産会館 2階会議室 (御前崎市港 6099-1) ＜見学先＞ (23) 1) 株式会社 プラニック (御前崎市港 6177-1) プラスチック比重選別施設 2) 株式会社 リサイクルクリーン 袋井工場 (袋井市村松 1567-1) 建設混合系廃棄物の高度リサイクル施設
③	7月末～ 8月末	事業内容アンケート (回答 24)	10/2(水) アンケート打合せ (出席者: 会長1名+副会長3名+事務局5名)
④	12/10 (火)	学習会「水素製造技術の最新動向」 (21) 主催: 静岡県資源環境技術研究会 共催: 静岡県工業技術研究所 〔静岡県工業技術研究所〕 〔ハイブリッド開催〕	＜講演＞ 1) 「メタン直接分解によるターコイズ水素 およびその他水素製造技術の紹介」 講師: あいち産業科学技術総合センター 主任研究員 鈴木 正史 氏 2) 「水電解による水素製造技術の基本と技術 動向～貴金属材料の視点で俯瞰する～」 講師: 敬愛技術士事務所 所長 森田 敬愛 氏
⑤	2/5 (水)	令和6年度 環境視察会 (14)	＜見学先＞ 1) Shimadzu Tokyo Innovation Plaza (神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-40) 株式会社 島津製作所の分析計測機器 による先端分析手法の開発拠点 2) 川崎キングスカイフロント 東急REIホテル (神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-11) 水素燃料電池により施設電力の一部を 賄う「世界初の水素ホテル」
⑥	2/18 (火)	令和6年度 環境技術研修会 「AI・IoT技術研修会」 (46) 主催: 静岡県資源環境技術研究会 共催: 静岡県工業技術研究所	＜講演＞ 1) 「AI技術を活用したDXによる製造現場の 課題解決の紹介」 講師: 学校法人 金沢工業大学 工学部 教授 松井 くにお 氏 2) 「IoTによるメタン発酵プラント遠隔管理 システムの構築」 講師: 山梨罐詰株式会社 環境安全部

		〔静岡県工業技術研究所〕 〔ハイブリッド開催〕	課長代理 松村 英功 氏 3) 「簡易安価なバーチャル工場モデル構築 技術の開発」 講師：静岡県工業技術研究所 機械電子科 主任研究員 岩崎 清斗 氏
⑦	2/27 (木)	令和6年度 水処理技術セミナー (22) 主催：静岡県資源環境技術研究会 共催：静岡県工業技術研究所 〔web 会議システムによる配信〕	<講演> 1) 「宇宙空間における革新的な水再生技術と その実証」 講師：栗田工業株式会社 イノベーション本部 オープンイノベーション推進部門 宇宙の水プロジェクトグループ 開発課 今村 勇氣 氏 2) 「バチルス属細菌を使用した排水処理技術 について」 講師：有限会社 中央バチルワールド 代表取締役 青木 優 氏

<令和6年度決算報告>

一般会計

<収入の部>

項目	予算(円)	決算(円)	差額(円)	備考
前年度繰越金	1,077,663	1,077,663	0	
会費	655,000	655,000	0	法人；¥10,000*64社、個人；¥5,000*3名
臨時会費	62,500	62,500	0	交流会参加費
その他の収入	1,500	609	△ 891	(8/17利息¥68)+(2/15利息¥541)=¥609
合計	1,796,663	1,795,772	△ 891	

<支出の部>

項目	予算(円)	決算(円)	差額(円)	備考
総会及び見学会	280,000	233,854	△ 46,146	会場費、貸切バス等旅行代
会議費(役員会)	25,000	21,848	△ 3,152	会場費、お茶代
交流会	125,000	112,500	△ 12,500	交流会
研修費(セミナー、学習会、研修会、視察会)	420,000	360,343	△ 59,657	学習会、セミナー、講演、環境視察会
調査事業費(雑誌購読)	0	0	0	雑誌購読料(日経BP/3年間)
事務通信費	50,000	45,610	△ 4,390	通信費、事務用品費(ﾌﾟﾘﾝﾀｰ等)
HP維持管理費	60,000	59,730	△ 270	サーバー管理費、データ改修費
60周年記念事業費積立金	100,000	100,000	0	積立金
予備費	736,663	0	△ 736,663	
合計	1,796,663	933,885	△ 862,778	

<収支の部>

項目	金額(円)
収入総額	1,795,772
支出総額	933,885
差引残高(次年度繰越金)	861,887

特別会計（60周年記念事業積立）

<収入の部>

項目	予算（円）	決算（円）	差額（円）	備考
前年度繰越金	600,012	600,012	0	
令和6年度積立金	100,000	100,000	0	
その他の収入	0	18	18	銀行利息
合計	700,012	700,030	18	

<支出の部>

項目	予算（円）	決算（円）	差額（円）	備考
	0	0	0	
合計	0	0	0	

<収支の部>

項目	(円)
収入総額	700,030
支出総額	0
差引残高（次年度繰越金）	700,030

出納責任者

山梨罐詰（株）

松村 英功



（一社）静岡県環境資源協会

佐野 浩聡



3) 令和6年度会計監査報告

上記の会計監査の結果相違なきことを証明する。

令和7年3月21日

会計監査委員

東海理機（株）

安池 智之



高田 勝己



2) 令和7年度役員について（任期：令和7～8年度）

【敬称略】

会長	永田章人	(株)永田デザイナー級建築士事務所
副会長	北條文靖 高木良幸 増井裕久	平井工業(株) 静岡油化工業(株) 工業技術研究所 研究調整官
理事	堤 博文(名誉会長) 望月光明(名誉会長) 鈴木正史 <u>石上隼人</u> 佐藤 研 水野広悟 大滝明仁 <u>奥野辰行</u> 戸塚好之	(株)イーシーテクノ 山梨罐詰(株) 三鈴工業(株) 科研製薬(株)静岡工場 (株)サンコー分析センター 静岡ガス(株) 東邦化工建設(株) 矢崎エナジーシステム(株) (個人会員)
(会計)	佐野浩聡 松村英功	(一社)静岡県環境資源協会 山梨罐詰(株)
監査	安池智之 高田勝己	東海理機(株) (個人会員)
技術顧問	須藤雅夫 中崎清彦 松本 豊 目黒輝久(名誉会長)	静岡大学 名誉教授 東京工業大学 名誉教授 松本環境コンサル 目黒労働安全衛生コンサルタント事務所
幹事長	<u>岡本哲志(昇任)</u>	工業技術研究所 環境エネルギー科長
幹事	室伏敬太 菊池圭祐 井口大輔 <u>藁科孝太(新規採用)</u>	工業技術研究所 環境エネルギー科 工業技術研究所 環境エネルギー科 工業技術研究所 環境エネルギー科 工業技術研究所 環境エネルギー科 工業技術研究所 環境エネルギー科

(変更)	菅原剛博	科研製薬(株)静岡工場
(変更)	守谷和行	矢崎エナジーシステム(株)
(退任)	油上 保(副会長)	現：工業技術研究所 工芸科長
(退任)	本間信行(幹事長)	現：工業技術研究所 企画調整部 企画調整班長

3) 令和7年度事業計画、予算

<令和7年度 事業計画>

年	月	事業	予算	事務局主担当
R07	6月2日	役員会	一般会計	岡本
	7月16日	総会及び見学会	//	岡本
	9月	水処理技術セミナー	//	岡本
	10~11月	環境視察会	//	岡本
	11月	環境技術研修会	//	室伏
	12月	環境学習会	//	菊池
	適宜	HP維持管理	//	岡本

<令和7年度 予算>

一般会計

(収入の部)

(単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減
前年度繰越金	861,887	1,077,663	▲ 215,776
会費（法人66社，個人3名）	675,000	655,000	20,000
臨時会費	55,000	62,500	▲ 7,500
その他収入	700	1,500	▲ 800
合計	1,592,587	1,796,663	▲ 204,076

(支出の部)

(単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減
総会及び見学会	250,000	280,000	▲ 30,000
会議費（役員会）	6,000	25,000	▲ 19,000
交流会	110,000	125,000	▲ 15,000
研修費（セミナー,研修会,学習会,環境視察会）	330,000	420,000	▲ 90,000
調査事業費（雑誌講読）	59,700	0	59,700
事務通信費	50,000	50,000	0
HP維持管理費	50,000	60,000	▲ 10,000
60周年記念事業費積立金	100,000	100,000	0
予備費	636,887	736,663	▲ 99,776
合計	1,592,587	1,796,663	▲ 204,076

4) その他

① 入退会等について

<令和6年度> 法人64社 個人3人(会員数67)

- ・入会(1社)・・・ パナック株式会社 (入会受付 R6.2.26)
- ・退会(1人)・・・ 大長 守弥 (退会日 R6.5.1)

<令和7年度> 法人66社 個人3人(会員数69)

- ・入会(2社)・・・ 株式会社 大川原製作所 (入会受付 R7.6.2)
- WEFAM Design 株式会社 (入会受付 R7.6.5)

② 研究会事業収支改善の取組について

以下の理由で、事業収支が悪化している(次ページ表)。

- 1) 会員数の減少に伴う会費収入の減少
- 2) 講習会事業再編に伴う事業費の増加

これに対し、以下の対策を検討する。

- ・幹事による県内企業訪問の際に、研究会入会を勧誘する(年間目標: 5社)

※上記の取組とは別に、今年度から会長と幹事長が中心となり、役員を除く法人会員を対象に訪問する。2か月に1回のペースで、会長同伴の下、1回3社を訪問する。その他、幹事長による訪問と合わせ、2年掛けて全ての企業を訪問する。

表 研究会の事業収支（2015年度～2024年度）

年度	収入			支出										会費収入- 支出合計 [千円]	備考
	収入 合計 [千円]	会費 収入 [千円]	前年度 繰越金 [千円]	支出 合計 [千円]	役員会+ 交流会費用 [千円]	総会+ 見学会費用 [千円]	視察会 費用 [千円]	総会+見学会 +視察会費用 [千円]	水処理技術 セミナー費用 [千円]	技術研修会 費用 [千円]	学習会 費用 [千円]	講習会 費用合計 [千円]			
'15 (H27)	1,089	805	172	722	32	238	216	453	29	0	0	29	83		
'16 (H28)	1,234	810	367	868	60	200	293	493	83	0	0	83	-58		
'17 (H29)	1,301	820	366	903	73	200	326	526	104	0	0	104	-83		
'18 (H30)	1,207	755	398	774	62	220	284	504	33	0	0	33	-19	水処理技術セミナー：県保全協会と共催開始	
'19 (R01)	1,290	785	433	736	48	197	0	197	28	0	0	28	49	研究会50周年・視察会を実施せず50周年記念事業として300,000円使用	
'20 (R02)	1,316	760	554	331	0	0	0	0	29	0	0	29	429	コロナ禍（R2～R4年度）	
'21 (R03)	1,737	740	986	470	4	0	0	0	11	15	8	34	270	記念事業積立金を200,000円積み増し（例年は100,000円積立）	
'22 (R04)	1,993	710	1,266	616	4	0	254	254	22	15	17	55	94	分析技術研修会⇒プラスチック資源循環セミナー	
'23 (R05)	2,135	670	1,377	1,058	97	265	313	578	33	0	0	33	-388	役員会+総会+講演会+交流会として実施見学会は総会と別の日程で実施	
'24 (R06)	1,796	655	1,078	934	72	234	235	469	74	30	21	125	-279	水処理技術セミナー：県環境保全協会と共催 催解消・技術研修会と学習会：費用発生	

静岡県資源環境技術研究会会則

(名称)

第1条 本会は静岡県資源環境技術研究会と称する。

(目的)

第2条 本会は資源、環境に関する諸問題について研究し、知識の交換、技術の研鑽を行い、もって資源環境技術の向上を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、下記の事業を行う。

1. 講演会、講習会、見学会等の開催
2. その他本会の目的を達成するために必要な事項

(会員資格)

第4条 静岡県内に所在する事業所又は個人で本会の主旨に賛同するもの。

第5条 本会に入会しようとするものは所定の様式により申込む。なお、会費を特別の理由なくして2年間滞納したものは脱会したものとみなす。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 3名
3. 理事 若干名 (会計2名を含む)
4. 会計監査 2名
5. 幹事 若干名 (内1名を幹事長とする)

(技術顧問)

第7条 専門知識および豊富な経験を持つ技術顧問を置くことができる。

第8条 会長は本会を代表し、会務を総括する。副会長は会長を補佐し、会長に支障がある時は、これを代行する。理事は本会の運営に参画する。技術顧問は本会の事業に適切な助言を行う。会計監査は経理を監査する。幹事は会長の委嘱により、静岡県工業技術研究所環境エネルギー科の職員が担当して事務局を構成し、会務を処理する。

第9条 理事及び会計監査は、総会において会員中より選出する。会長は理事の互選により選出する。副会長は、3名のうち1名を、静岡県工業技術研究所環境エネルギー科を管轄する研究統括官又は研究調整官とし、他2名は会長の指名により、理事の中から決定する。会計は、2名を会長の指名により、理事の中から決定する。技術顧問は会長が推薦し、役員会において決定委嘱する。

第10条 役員および技術顧問の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし欠員が生じたときは会長の委嘱により補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第 11 条 本会の会議は総会と役員会とする。ただし必要があるときは会長がこれを召集する。役員会は必要に応じて会長が召集する。

第 12 条 次の事項は総会の承認を得なければならない。

1. 予算、決算
2. 事業の計画、報告
3. 会則の変更
4. その他会に関する重要な事項

第 13 条 総会は会員の 2 分の 1 以上の出席を要し（委任状を含む）、議決は出席者の過半数の同意を必要とする。

第 14 条 会長は、必要があると認めるときは、会員の招集を行わず、書面その他の方法により会員の意見を求めることにより、総会等の決議に代えることができる。

- 2 前項の場合における決議については、前条の規定を準用する。

(会費)

第 15 条 本会の経費は会費、及びその他の収入をもってあてる。

第 16 条 会費は次の通りとする。ただし必要に応じて臨時会費を徴収することが出来る。

1. 法人会費 年額 10,000 円
2. 個人会費 年額 5,000 円

(事業年度、及び会計年度)

第 17 条 本会の事業年度、及び会計年度は毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする。

(事務局)

第 18 条 本会の事務局は静岡県工業技術研究所環境エネルギー科におく。

(名誉会長)

第 19 条 会長職を長年務め、かつ本会に顕著な功績を残した会長が退任の際には、名誉会長の称号を贈る。

(その他)

第 20 条 本規約に規定しない事項は役員会において審議し、総会にはかり決定する。

平成 19 年 6 月 13 日改正
平成 22 年 6 月 4 日改正
平成 23 年 6 月 10 日改正
平成 24 年 6 月 8 日改正
平成 30 年 6 月 14 日改正
令和 元年 6 月 12 日改正
令和 2 年 7 月 27 日改正